



地籍問題研究会 第33回定例研究会のお知らせ

地籍問題研究会では、このたび、第33回定例研究会を下記の日程にて開催するはこびとなりました。

■ 日時

令和4年12月3日(土)13:15~16:30

■ 開催

オンライン(Zoom)開催(要申込み、受講用URLは前日までにメールにて通知)
(オンライン参加の定員に達した場合、申込みを締め切らせていただくことがあります。)

■ 申込方法

下記URLにアクセスし、必要事項を記載し、送信ボタンを押してください。

<https://forms.gle/E6YW2fNSHXFvPawX6> (Googleフォーム)

※お申込みは、11月29日(火)17時まで

■ テーマ

「表示登記制度及び土地家屋調査士の業務と制度の充実に関する研究」
日本土地家屋調査士会連合会研究所～令和4年度研究概要 中間報告～

協力:日本土地家屋調査士会連合会

■ 13:15 - 16:30 地籍問題研究会・第33回定例研究会

■ 開会(13:15-13:20)

挨拶 岡田潤一郎氏(日本土地家屋調査士会連合会会長)

挨拶及び研究所紹介 城戸崎修氏(日本土地家屋調査士会連合会常任理事(研究所長))

■ テーマ1 歴史的な地図・資料等の地域性に関する研究(13:20-13:55)

報告1「京都地域における歴史的地図・資料等について、

土地家屋調査士業務に関連した考察、調査研究」

三田村和幸研究員(京都土地家屋調査士会)

報告2「『府県地租改正紀要』を読み直す」

近江太郎研究員(香川県土地家屋調査士会)

■ テーマ2 先端技術及びビジネスモデル等に関する研究(13:55-15:00)

報告3「登記所備付地図作成地域における

バックパック型MMS精度検証及び高精度化手法の検討」

本多崇研究員(東京土地家屋調査士会)

報告4「最新技術でTSによる測量をどこまで補完できるかの検証」

平泉規研究員(長野県土地家屋調査士会)

報告5「土地の整備と登記制度を活用したデジタル化に関する研究」

那須康治研究員(広島県土地家屋調査士会)

報告6「みちびき高精度測位など最新技術の活用とビジネスモデルに関する調査・研究」

浅里幸起特任研究員((一財)宇宙システム開発利用推進機構)

(休憩)

(→裏面に続く)

■ テーマ3 不動産取引に関する研究(15:15-15:45)

報告7「相続税申告手続きに関わる土地家屋調査士業務の研究」

諏佐愛蘭研究員(千葉県土地家屋調査士会)

報告8「昨今の土地取引に係る土地家屋調査士」

伊藤直樹研究員(愛知県土地家屋調査士会)

■ テーマ4 地籍調査に関する研究(15:45-16:25)

報告9(共同報告)「地籍調査に関する研究」

片岡聖佳研究員(和歌山県土地家屋調査士会)

古尾圭一研究員(三重県土地家屋調査士会)

報告10「リモートセンシングによる地籍調査の効率化に係る研究」

山中匠研究員(広島県土地家屋調査士会)

■ 閉会(16:25-16:30)

閉会の挨拶 柳澤尚幸氏(当研究会幹事、日本土地家屋調査士会連合会副会長)

令和5年度通常総会及び第34回定例研究会のご案内

令和5年度通常総会及び第34回定例研究会は、下記の日程で開催される予定です。

日 時:2023(令和5)年3月11日(土)

場 所:LMJ東京研修センター(東京都文京区)4階会議室



事務局長 岡田康夫(國學院大學法学部教授)

電話 03-3953-5757(代) FAX 03-3953-5772

問合せ chiseki_info@kajo.co.jp (地籍問題研究会 事務局)まで